

酒類・食品 & News解説

週刊

令和7年10月24日(金曜日) 第3467号

(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)

毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健

購読料 6ヵ月 15,730円(税込み)

振替番号 東京4-71739

発行所 株式会社日刊経済通信社

本社 東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル

☎03(5847)6611代 FAX 03(5847)6600

名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791

http://www.nikkankeizai.co.jp/



本紙調

9月のアイス商況3%減

月末にかけ伸び悩む

9月のアイスクリーム商況は、前年同月を3%程度下回った。上旬は高温が後押しし、値上げにともなう8月末仮需の影響も一部にみられたものの前年を上回って推移。しかし、月末にかけて九州や北海道、日本海側で大雨に見舞われ急速に伸び悩んだ。また、チャネル別ではCVSの低迷が響いた。4月からの今期累計は3%増。9月の各社概況は次の通り。

ロッテは1%増で、市販用は1%増、業務用は5%増。「雪見だいふく」のお月見仕立ての切り替えや「レディーボーデン」の新商品が寄与した。「クリッシュ」は4%増で、パニラが9%減、CVSで販促を強化した「ベルギーチョコ」が30%増、青空ソーダフロートが15%減、濃密みかんが12%増。「爽」は10%減で、パニラが5%減、冷凍パインが6%減、発売が時期ズレた「巨峰&マスカット」が41%増。「雪見だいふく」は7%増で、パニラが3%増、ミニ雪見が1%増、コクのショコラが5%増、月見仕立てが3%増。「モナ王」は7%増で、パニラが9%減、マルチが5%減、克蘭キーが純増。「レ

ディーボーデン」は10%増で、パイントが4%減、マルチが6%減、新商品が2品増加したミニカップが41%増。「ガーナ」が8%減。「ドル」は14%減、「パニラバー」が4%増、「ハリー」が11%増。「カルピス」が13%減、販売期間を延長した「スイカバー」シリーズは4倍超。江崎グリコは前年割れ。「牧場しほり」「セブンティーンアイス」が前年を上回ったものの、「パピコ」「ジャイエアントコーン」「アイスの実」「バナッパ」「SUNAO」がいずれも前年を下回った。マルチは680円層が上回ったものの、450円層とOP、580円層は苦戦した。

森永乳業は前年並み。「パルム」は2%増で、定番ノベルティが5%増、フレーパーは前年の反動でマイナス、定番マルチは25%増、フリーバーは3%増。販売エリアを拡大した「糖質50%オフ」も好スタートを切った。「MOW」は8%減で、パニラが8%増、フレーパーが1%増だった。「PRIME」が苦戦した。昨年36%増だった「ピノ」は1%増と高水準を持続。

上の伸長で、新商品ブルーベリーのCVS中心に浸透。「パフェ」シリーズ、角10棒は1ケタのマイナス。「うずまきソフト」は前年超え、「辻利シリーズ」は5割以上の伸長。「菓子ブランド」は3割近い増加。「ディアミルク」は苦戦した。

森永製菓は4%程度のマイナス。昨年ヒットした「白い板チョコ」の反動が大きかった。「ジャンボシリーズ」が3%程度の前年越え。CVSの取扱期間が延長した「アイスボックスGF」は6割以上の伸長。取扱率が向上した「サンデーカップ」が1割、「ザ・クレイプ」が2割強、「ビスケットサンド」が4割以上の伸び。パニラは5%程度の増加。昨年反動が大きかった「板チョコアイス」、JAN変更を伴う改定が取扱率に影響した「パキシエル」は苦戦した。

主な内容

キリン 歩みを進める「15面」
「こころ」の魅力を伝える①
酒類「こころ」
パルム「12月」イベント
「サリン」世界のアスリート

3面 9面 5面 15面

「サリン」世界のアスリート
「サリン」世界のアスリート
「サリン」世界のアスリート
「サリン」世界のアスリート

8面 14面 2面 7面 13面 11面

Asahi
SUPER
"DRY"
生

冷やすほどに
キレ冴える、
辛口<生>

アサヒビール株式会社